



景観広告とやま賞

2010





景観広告 大賞

■ 富山不破福寿堂 (富山市鹿島町)

設置者/富山不破福寿堂 デザイン・制作/株式会社コマヤ

富山市市街地にある和菓子屋。建物の2階まである大きな看板でありながら、色調や取り付け方を建築と一体化させることで、落ち着いた雰囲気をつくり出している。ケヤキ並木が美しい通りともよく調和しており、街中にある看板のあるべき姿を示している。



景観広告
優秀賞



(ゼロプラスプロダクツ)

■ ZERO + PRODUCTS (射水市黒河)

設置者/ZERO+PRODUCTS デザイン・制作/株式会社ガラスキューブ

射水市内にある美容院。オレンジを基調とした看板は透明感のある素材の使い方が新鮮で、敷地内の芝生に映えて印象的である。建物の外観と看板のバランスが良く、トータルデザインが優れている。

景観広告
優秀賞



■ 手打ち石臼挽き 蕎麦 福助 (砺波市林)

設置者/手打ち石臼挽き 蕎麦 福助 デザイン・制作/株式会社アイドマセンサー

砺波市の田園地帯にある蕎麦屋。雰囲気のある書体を白く染め抜いた暖簾は重厚で、建物や手前のもみじとのバランスが秀逸である。駐車場に配された木製の看板や石材も周辺の田園景観に溶け込んでおり、全体として完成度が高いものである。

景観広告
優秀賞



■ 富山市バナー (富山市内環状線周辺)

設置者/富山市 デザイン/島津環境グラフィックス(有) 制作/(有)サワダアート

富山市市街地環状線周辺にあるバナー。バナーは町並みに彩りを添える要素としてヨーロッパではよく使われているが、日本では良い事例が少なかった。ここではシンプルなカラーデザインが出色で、セントラムとあまってヨーロッパに負けない景観がつけられている。

景観
広告賞



■ 富山信用金庫 B&Lコンサルティングスクエア (富山市今泉西部町)

設置者/富山信用金庫 デザイン/ヨシカワデザイン事務所 制作/㈱アド

富山市南部にある信用金庫。国道41号の大通りにありながら、落ち着いた色使いであり、品良く店舗が主張されている。また、木の質感を活かした店舗の壁面ともうまくバランスがとれている。

■ 染ときもの 秋吉屋 (富山市大手町)

設置者/染ときもの 秋吉屋 デザイン・制作/㈱サンデン・コーポレーション 富山支店

富山市市街地にある呉服店。切り文字のみでシンプルな看板であるが、瓦を用いた素材感のある壁面が効果的に文字を強調している。建物とサインとの調和がとれており、バランスが良い。

景観
広告賞



景観
広告賞



■ コンセプトホテル 和休 (富山市宝町)

設置者/㈲オカムラ デザイン/㈱ミックプランニング 制作/㈱トミブラ

富山駅西側にあるホテル。和の書体と落ち着いた色のシンプルな看板のデザインからやすらぎのイメージが作り出されている。ホテルのコンセプトをよく表しており、泊まってみたいと思わせるような雰囲気を作り出している。

■ 射水市戸破・三ヶ地区の鍍絵看板 (射水市戸破・三ヶ地区)

活動・設置者/射水市商工会

射水市戸破・三ヶ地区の商店街にある鍍絵看板。地元商工会が中心に、地域に残る鍍絵を活用した看板づくりが行われており、まちづくりの取り組みとして評価できる。今後も鍍絵の町として、景観づくり活動を期待するものである。

景観
広告賞



■ 矯正歯科やまぎしクリニック (射水市戸破)

設置者/矯正歯科やまぎしクリニック デザイン/島津環境グラフィックス(株) 制作/株式会社川アート・プロ

射水市内の住宅地にある歯科医院。白を基調にエンジ色を用いたグラフィックが洗練されており、見過ごされがちなベース部分も丁寧にデザインされている。ページュを基調とした建物と看板との調和がとれており、周辺景観にマッチしている。



景観 広告賞



(ミツパチ)

■ 大場養蜂園 カフェ38 (富山市新根塚町)

設置者/大場養蜂園 カフェ38 デザイン/旬ブルー・ワールド 制作/K・クラフト

富山市市街地にあるカフェ。建物の壁面や、敷地内看板に木材を使用しており、まるで巣箱をイメージさせるような印象的な作りである。全体的にサインがシンプルにまとめられており好感がもてる。

■ 「景観広告」とは？

県では、景観に配慮し富山らしい生き生きとしたまちづくりに寄与する屋外広告物を「景観広告」と位置付け、その具体的な企画やデザインの手法等について紹介した「富山県景観広告ガイドライン」を平成20年3月に発行しました。店舗等でのサイン計画等にご活用いただけるよう普及に努めています。



Design Guideline of Signs in Toyama

景観 広告賞



■ 旬菜のいぶき 縁空 (砺波市五郎丸)

設置者/旬菜のいぶき 縁空 デザイン・制作/株式会社サンテン・コーポレーション 金沢

砺波市の田園地帯にある和食店。すっきりとしたデザインで黒を基調とした店舗に対して、白を基調とすることで看板の存在を強調しながらも、高さが抑えられており全体としてバランスがとれ、周辺景観とも調和している。

景観 広告賞



■ 旬菜酒房 まめな家 (魚津市上村木)

設置者/旬菜酒房 まめな家 デザイン/旬インテリア原 制作/㈱ニイカワ広告社

魚津市市街地にある居酒屋。赤は、屋外広告物として周辺景観に調和・配慮させることは難しく、否定されがちであるが、この看板の赤の使い方は非常に優れている。赤色の上手な使い方の良い例である。

景観 広告賞



■ 粋やぶき (富山市内幸町)

設置者/粋やぶき デザイン/インテリアコニシ工房 制作/㈱宣広

富山市市街地にある居酒屋。小さくシンプルなサインでありながら、夜になるとライトアップされ、店舗を効果的にアピールするサインとなっている。

●● 景観広告とやま賞について ●●

富山県では、富山らしい美しい景観を守り育てるとともに、
景観に配慮された屋外広告物の普及を図るため、「景観広告とやま賞」を創設しました。

目的 地域の特性を生かした良好な景観の保全・創造のため、周辺景観に調和・配慮された屋外広告物である「景観広告」を広く募集し、優れた作品を表彰することにより、景観や屋外広告物に対する県民の意識と関心を高め、「景観広告」の普及を図ることを目的とする。

主催 富山県

顕彰対象 原則として、過去5年間に県内に設置された「景観広告ガイドライン」の趣旨に沿う屋外広告物の広告主及びデザイン・制作担当事業者

審査 景観広告とやま賞審査委員会 ※審査委員長
武山 良三※ 県景観審議会委員／富山大学芸術文化学部教授
押田 洋治 県景観審議会委員／富山県建築士会会長
寺本 龍昭 県景観審議会委員／富山県屋外広告美術協同組合理事長
秋月 有紀 県景観審議会委員／富山大学人間発達科学部准教授
羽根 由 県景観審議会屋外広告物部会委員／生活ネット研究所代表
長谷川道隆 富山県建築住宅課長
俣本 和夫 富山市都市政策課長